

感染症内科

1. 診療科の概要

感染症の診断や治療に関するコンサルテーション、渡航・ワクチン外来を行っている。院内の感染対策についても助言・指導を行っている。疫学研究や微生物検体を用いた解析、研究を行っている。

2. 臨床研修指導医

指導責任者：黒沼幸治

指導医：高橋 聡、齋藤充史、藤谷好弘、富樫篤生、本田宏幸

3. 研修担当者

氏名：藤谷好弘

連絡先（メールアドレス）：yfujiya@sapmed.ac.jp

4. 研修初日の集合時刻と集合場所、事前連絡の要否

集合時刻：8時45分

集合場所：臨床教育研究棟 3階 感染制御・臨床検査医学講座教室

事前連絡：前の週までに連絡がない場合は研修担当者にメールで確認

5. 到達目標

- ・ 外来または病棟において、下記の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と、病態を考慮した初期対応ができる。
<ショック、体重減少・るい瘦、発疹、黄疸、発熱、意識障害・失神、胸痛、心停止、呼吸困難、嘔気・嘔吐、腹痛、腰・背部痛、関節痛、排尿障害（尿失禁・排尿困難）、興奮・せん妄、抑うつ、終末期の症候>
- ・ 外来または病棟において、下記の疾病・病態を有する患者の診療にあたることことができる。
<心不全、高血圧、肺炎、急性上気道炎、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、急性胃腸炎、肝炎・肝硬変、胆嚢炎・胆管炎、腹膜炎、腎盂腎炎、脳炎・髄膜炎、腎不全、糖尿病、脂質異常症、うつ病>
- ・ 感染症診療、微生物検査、感染制御・感染予防において下記を目標とする。

1) 感染症診療

感染症診療の原則および代表的な病原微生物や抗微生物薬の特徴を理解し、適切な感染症診療を行うことができる。抗菌薬適正使用を理解し、実践できる。

2) 微生物検査

基本的な微生物学的検査（グラム染色、培養検査、薬剤感受性試験等）を理解し、解釈ができる。グラム染色を実践でき、その結果を診療に反映させることができる。

3) 感染制御・感染予防

標準予防策、感染経路別予防策を理解し、手指衛生、PPE脱着などを適切に実施できる。感染予防としてワクチンについて理解し、ワクチン接種の一連の対応ができる。

6. 研修内容

- ・感染症コンサルテーション：毎週月・水・木曜日
- ・血液培養カンファレンス：毎週月・水・金曜日 11:00（附属病院1階 外来24）
医師、薬剤師、感染管理認定看護師とともに細菌検査室と web 上で血液培養カンファレンス、抗菌薬適正使用カンファレンス、病棟からのコンサルテーション症例の検討を行う。
- ・症例カンファレンス：毎週水曜日 16:30（附属病院1階 外来24）
- ・細菌検査室研修（附属病院検査部）
- ・渡航・ワクチン外来研修：毎週木曜日午後
- ・感染対策研修：手指衛生・個人防護具研修、院内環境ラウンドへの参加
- ・抄読会：隔週の水曜日 8:30（附属病院1階 外来24 または Web）。研修中に1回は担当する。

7. 研修医の主な業務

医師とともに病棟からのコンサルテーション症例や血液培養陽性症例の診療に参加する。
微生物検査室において微生物検査の基本を理解し、基本手技を習得する。
渡航・ワクチン外来診療に参加する。
感染制御に関する業務に参加する。

8. 研修スケジュール（例）

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
月			患者回診 ディスカッション		血液培養 カンファ (外来24)			感染症コンサルテーション				
火			患者回診 ディスカッション				細菌検査研修					
水		抄読会	患者回診 ディスカッション		血液培養 カンファ (外来24)		感染症コンサルテ ーション			症例カ ンファ レンス		
木			患者回診 ディスカッション				感染症コンサルテーション ワクチン外来					
金			患者回診 ディスカッション		血液培養 カンファ (外来24)		感染制御 院内巡回			病棟回診		

※細菌検査研修グラム染色、細菌培養、薬剤感受性試験などを行う。

※毎週水曜日 16:30 から症例カンファレンスに参加すること。※当直日選定の際に留意すること。

※空き時間に適宜レクチャーを行う。

9. 初期臨床研修時の症例を活用できる専門医資格

内科専門医